

5190 **くらくら**久楽の世界の旅：フィレンツェ・何でも 見聞体験



アルノ川



ヴェッキオ橋



場所・忘却



濡れた石畳も一興

画像一枚一枚に、フィレンツェの、歴史と物語があるのと、同時に、  
迎古げーぶるにも、物語が積み重なる。画像記録だけでなく、ひと言でいい、また、箇条書きのメモ。

先のことはわからないが、**今も、夢づくりに熱中**、考動実践。

イタリア一人旅。**世界の旅は、人生の学校**。気づきと発見、勉強の場。日本の旅でも同じ。

6月も、イタリア周遊のソロの旅を継続掲載予定だが、  
道草というか、**5月22日**（土曜日）**23日**（日曜日）、の行動顛末を割り込み。

.....

というのも、素敵な大原の里の紹介と、お礼の意味を込めて。  
自分自身への鼓舞。生活のリズムと心身訓練で、**5月22日**、土砂降りの雨にも遭遇したが、

**ママチャリ2号**にて、江文峠経由、大好きな**大原の里**へ。

地元のお二人の親切な方のおかげで、私有地にも入れていただき、画像記録の機会。

いろいろ、教えていただき、心に残る時間をもたせてもらった。

誰かが、フェイスブックにも書かれた由、私は見るだけしかできない。

**無事に帰宅できたご報告を兼ねて**、その顛末を、

また、5月23日の足跡画像記録を、次に割り込み。イタリア周遊の旅は、その後に。

出来る時に出来ることを。人様や自然や動物との出会いから、元気をもらった。

.....